

補助金等調査表（チェックシート）

所属 郷土博物館

（1）補助金の内容

名	称	浦安囃子保存会活動費補助金	
交付開始年度	昭和56年度	終了予定年度	
交付先	浦安囃子保存会活動費補助金		
交付の目的・必要性	伝統文化活動に関わる費用の一部を補助することにより、団体の自主的な文化活動を活発化させ、その普及・伝承により、広く伝統文化の振興を図ることを目的とする。		
対象事業の内容	「浦安囃子」の伝承、普及にかかわる事業補助や、道具の整備		
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 事業補助 <input type="checkbox"/> 運営補助 <input type="checkbox"/> 混合補助 ⇒ 割合が大きいのは <input type="checkbox"/> 事業補助 <input type="checkbox"/> 運営補助		
直近の見直し状況	見直した時期	令和3年度（令和4年度当初予算）	
	内容	事業の実績及び事業費の用途を確認し、補助金額を見直した。	
交付申請	受領書類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 収支予算書 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
	確認内容	活動計画、支出内訳	
実績報告	受領書類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
	確認内容	活動実績、支出内訳	

(2) 補助金見直しの基本視点に基づく評価

(※具体的な根拠指標には、設問に対する評価根拠となる、成果等を示す数値的な指標を記載すること)

公益性	補助事業が、客観的に見て、より広く市民等に利益をもたらす、または還元されている。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		広く社会に利益をもたらす	保存会の活動によって、浦安の伝統文化を市民に広く伝えることができる。
公益性	補助事業の目的が、時代や社会情勢に合っている。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		ほとんど合っている	市指定無形民俗文化財を伝承・普及していく上で、時代や社会情勢に左右されず支援をしていかなければならない。
必要性	補助金を交付する形で、市が関与する妥当性がある。	評価	「ある」→妥当性について記入。 「ない」→妥当性がないにも関わらず補助する理由を記入。
		ある	浦安市文化財保護条例第32条による。
	補助金がない場合、団体等は自主財源で事業を行うことができない。	評価	「できる」→自主財源で事業実施可能にも関わらず補助する理由を記入。 「できない」→補助金がないと事業を実施できない理由・具体的根拠を記入
		できない	活動を行うための道具の維持・管理や、公演への参加費などの費用がかかるため。
	市民ニーズが高いものである。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		高い	外部からの出演依頼も多く、市のイベントや博物館での事業では、多くの来館者が足を止めて見学している。
	市民ニーズに即している。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		即している	市のイベントなどで演技・演奏を披露することで、市民がまちの歴史と伝統文化への理解を深め、郷土愛を深めている。 例年学校への出前講座を実施し、児童生徒に、地域の人々が受け継いできた文化財や伝戸的な技術に関心を持ち、地域を大切にしたい人々の願いがこめられていることを理解させる。
補助金の意義について、的確に説明できる。	評価	「できる」→誰に対しどのような効果があるか等について記入。 「できない」→説明できない理由について記入。	
	できる	浦安に伝わってきた伝統の技・文化を演技・演奏という形で披露することで、市民に知ってもらうために補助を行っている。その事業をサポートするため、補助金を交付している。	
補助期限（終期）を設定している。	評価	「設定済」→設定年度とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。	
	未設定	文化・芸術の伝承には継続性が必要で、単発ではなく持続的に育成・補助が必要であるため。	
補助金申請に係る積算根拠が明確である。	評価	「はい」→積算根拠を何で確認しているかを記入。 「いいえ」→積算根拠が不明確である理由と今後の見通しを記入。	
	はい	団体から提出される予算書を確認している。	

施策との整合性	当該補助金は、市の政策目的や施策と整合している。	評価	「している」→どのような点で整合しているのか記入。 「していない」→整合していないにも関わらず補助する理由を記入。
		している	総合計画の中の「歴史・伝統文化の保存・継承」
施策との整合性	補助事業が本市の特性を生かした取り組みである。	評価	「はい」→どのような点で特性を生かしているのか記入。
		はい	「浦安囃子」は浦安独自の伝統的文化であり、博物館で演技の披露や練習を公開したり、学校への出張授業を行うことで、広く市民に浦安の伝統文化を身近に感じてもらう。
公平性	事業を実施できる団体が他にない。（複数存在する場合、当該補助金がその事業者だけに交付される合理的な理由がある。）	評価	「はい」を選んだ理由
		はい	「浦安囃子」は市指定無形民俗文化財であり、保持団体として認定されているのは浦安囃子保存会のみであるため。
		「いいえ」の場合、補助金がその事業者だけに交付される合理的理由を記入。	
公平性	補助対象経費に対して、補助事業者等にも応分の負担を求めるべき事業には、一定の適切な補助率や限度額が設定されている。	評価	「設定済」→補助率とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
		未設定	通常は、他の文化団体と補助に差が出ないように一定額の補助に留めている。今後は、補助率や限度額を検討していく。
効率性	補助目的に見合った成果や、施策実現に向けた効果がある。	効果の測定方法・具体的な根拠指標	
		評価	評価理由
	十分効果をあげている	博物館の事業だけでなく、市のイベント、学校授業、地域の文化行事などで演技を披露している。	
	手法として、委託等の手法よりも、補助金を交付することがより合理的である。	評価	評価の理由・具体的な根拠指標
		はい	浦安市文化財保護条例を根拠に、浦安独自の文化芸術団体に対し、委託するよりも補助しながら継承をしていく。
国や県、本市において同様の補助事業がない。（※国県要綱に対し、上乘せ・横出しする補助事業は除く）	評価	「ある」の場合、同様な補助事業と両方存続させる理由を記入。	
	ある	市指定文化財であり、県の補助は期待できない。	
補助対象経費の明確化	補助金対象内外経費が明らかになっているか。	評価	「はい」→何で確認をしているか記入。 「いいえ」→明確にしていけない理由を記入。
		はい	団体から提出される決算書を確認している。
	補助対象外経費を補助対象としていない。（対象としている場合は、明確な根拠を持っている。）	評価	「対象としている」の場合、費目及びその根拠規定と対象となる考え方を記入。（※費目とは、飲食費や慶弔費など）
		対象としていない	

※以下の項目は、団体補助金のみ記述。

団体補助金	団体の設置および活動目的が、補助事業からみて整合しているか。また、団体としての活動実態があるか。	評価	評価の理由
		はい	昭和22年に発足し、浦安の郷土芸能として定着してきた。郷土博物館における公開練習、事業協力、学校への出前講座など、伝統事業の普及に努めている。また、大祭や地域のイベントのみならず、万博など海外でもその演技を披露している。
	補助事業の内容と成果について、交付団体においても対外的に情報公開を実施しているか。	評価	「はい」→情報公開の手法等について具体的に記入。 「いいえ」→実施できない理由と今後の見通しを記入。
		はい	毎月、博物館にて公開練習を行っており。体験も可能である。また、活動についてはFacebookで紹介している。
	団体内で、補助金の使途や決算などの監査機能が有効に機能していて、透明性等をもって運営されているか。	評価	「はい」→どのような監査手法で実施しているか記入。 「いいえ」→機能していない理由と今後の見通しを記入。
		はい	総会において監査報告を行い、事業報告・決算報告を承認している。
補助金交付団体の自立性を促すことなどから、運営補助から事業補助へ移行を図っているか。	評価	「運営補助」の場合、事業補助に移行できない理由と今後の見通しを記入。 ※混合補助で実施している場合は、割合が大きい方を選択してください。	
	事業補助		
市職員が補助金交付団体の事務を行っているか。（行っている場合は合理的な理由があるか。）	評価	「行っている」の場合、合理的な理由を記入。	
	行っていない		
繰越金	交付団体の補助事業会計において、補助金額以上の繰越金を計上している。 (※複数団体ある場合は、各団体を一覧化したものを別紙にて提出のこと)	評価	具体的な根拠指標
		いいえ	直近決算額における補助金額 _____円 繰越金額 _____円 { うち補助事業会計分 _____円 うち団体独自会計分 _____円
			繰越金額が生じた具体的な原因について記入。
	上記設問において、「はい」の場合、補助金の減額ないし、休止などの必要な対策を考えている。	評価	「はい」→具体的な対応策について記入。 「いいえ」→対応できない理由について記入。

(3) 国県要綱・近隣市補助金との比較を通じた評価

近隣市と比較すると高額であるが、浦安の伝統芸能である「浦安囃子」の伝承・普及に当たって、博物館での練習公開や博物館事業への協力のほか、学校での体験学習への協力や市内イベントへの出演などに、自主的な活動を展開し、事業経費が比較的高くなっている状況であり、補助金の額としては妥当であると考えます。

(4) 補助金の課題

道具の整備や購入に当たっては、その内容によって必要な金額等が変わってくる。
現状は適正であると考えますが、今後も引き続き、補助の対象や金額が適正であるかの確認をしていくことが必要となる。

(5) 所属長の総合評価

「浦安囃子」は、市民の模範となる優れた文化芸術活動である。博物館の事業だけでなく、市の様々な事業を始め、依頼を受ける様々な場所で出演し、浦安の伝統文化を広くPRをしており、また、伝統芸能を伝承する保存会の意義を考えると、補助は妥当である。
今後も、同団体において広く市民が伝統文化に触れる機会をつくっていき、市民の文化意識を高めるとともに、新たな会員の確保につながるよう、取り組みを支援していきたい。

(6) 補助金の今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま継続
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しをしたうえで継続
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> その他

その他の内容

現行継続の理由	
---------	--

見直しの時期	令和5年度
見直しの内容	自主財源等の資金調達の強化や補助対象内容の見直しを検討する。

廃止の時期	
廃止の理由	